50th ANNIVERSARY

MGC

第95期
中間報告書

2021年4月1日 ＞ 2021年9月30日

三菱ガス化学株式会社

社会と分かち合える価値の創造

証券コード：4182

“次の50年”を視野に、
特色ある化学会社として、
社会の変革を牽引する主要な
プレーヤーを目指します。

代表取締役社長　藤井政志

第95期第2四半期事業活動について

当社は、今年、創立50周年を迎えました。株主の皆様をはじめ、これまでの当社の事業活動にご協力、ご支援いただきました多くのステークホルダーの皆様に厚く御礼申し上げます。

当第２四半期連結累計期間（2021年４月１日～2021年９月30日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの普及などによる持ち直しの動きが広がりつつあるものの、半導体不足による生産活動への影響や、原燃料価格の高騰なども懸念され、依然として先行きが不透明な状況が続いています。

当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルスの影響を受けた自動車分野等の需要が回復したほか、半導体向け製品の需要も市場拡大に伴って堅調に推移しました。原燃料価格が上昇するなか、メタノール、ポリカーボネート等の汎用製品の市況も上昇しました。

なお、当社グループは、2021年度よりスタートした新中期経営計画「Grow UP 2023」のもと、「環境変化に強い収益構造への転換」を目指し、「競争優位（“差異化”）事業の更なる強化」、「新規事業の創出と育成の加速」、「不採算事業の見直し・再構築」の施策による事業ポートフォリオ改革を推進してまいります。

当社グループの売上高は、メタノール等の市況上昇や、全般的な販売数量の回復などにより、増収となりました。

営業利益は、原燃料価格の上昇や、光学樹脂ポリマーの販売数量減少などの減益要因があったものの、新型コロナウイルスで影響を受けた製品の需要回復や、汎用製品の市況上昇などにより、増益となりました。

経常利益は、営業利益の増加に加え、エンジニアリングプラスチックス関連会社および海外メタノール生産会社に係る持分法利益が増加したことなどから、増益となりました。

なお、当期の中間配当金は、普通配当35円に、50周年記念配当10円を加えた45円といたしました。

株主の皆様には引き続きご支援、ご鞭撻を賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。

2021年12月

新中期経営計画「Grow UP 2023」

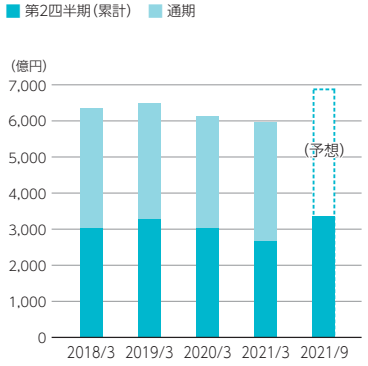
当社は本年度からの3年間を対象とする新中期経営計画「Grow UP 2023」をスタートさせました。

「環境変化に強い収益構造への転換」と「社会的価値と経済的価値の両立」の2つの目標に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

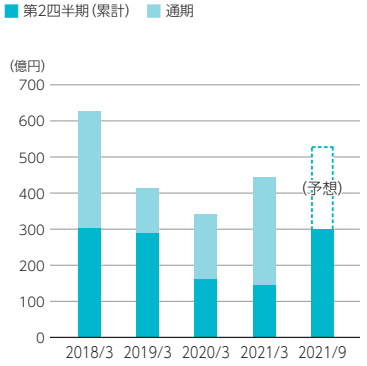
	2023年度目標
売上高	7,300億円
営業利益	700億円
経常利益	800億円
ROIC *1	10%以上
ROE *2	9%以上

＊1：経常利益÷投下資本　＊2：当期純利益÷自己資本
＜前提条件＞為替：105円/US$、原油価格（Dubai）：60US$/BBL

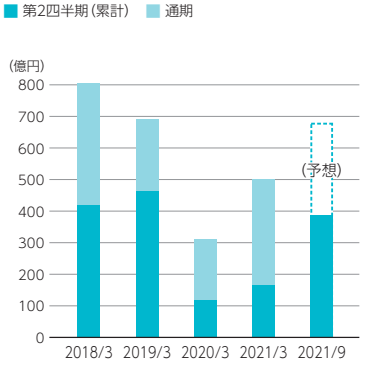
売上高



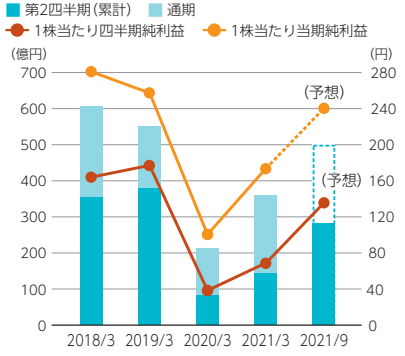
営業利益



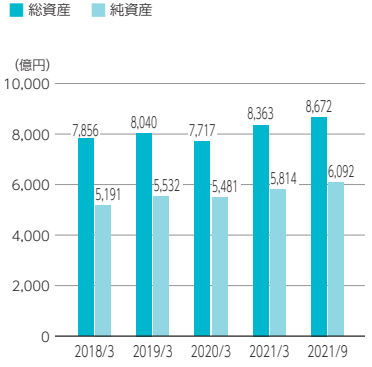
経常利益



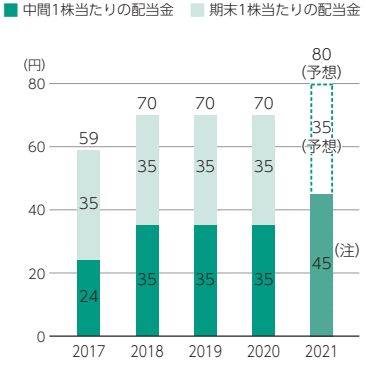
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益／1株当たり四半期(当期)純利益



総資産／純資産



1株当たり配当金



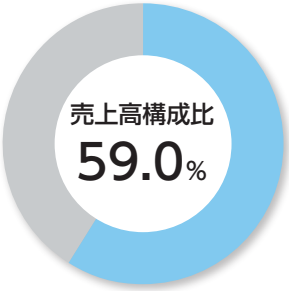
(注) 50周年記念配当10円を含む

事業別営業概況

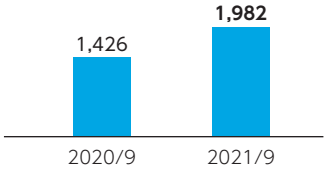
(2021年4月1日～2021年9月30日)

基礎化学品事業

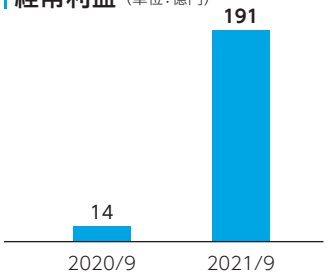
主要製品 メタノール、メタノール・アンモニア系化学品、ハイパフォーマンスプロダクツ、キシレン分離/誘導品、発泡プラスチック事業、資源開発・販売、ライフサイエンス系製品



売上高 (単位:億円)



経常利益 (単位:億円)



メタノールは、市況が前年同期に比べ大幅に上昇したことなどから、増収増益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、原料価格の上昇があったものの、ネオペンチルグリコールの市況上昇などにより、増収増益となりました。

ハイパフォーマンスプロダクツ※1は、メタキシレンジアミン(MXDA)の需要が新型コロナウイルスの影響を受けた前年同期から回復したことに加え、一部顧客の在庫積み増しもあり、増収増益となりました。

※1 MXDA、MXナイロン、芳香族アルデヒド等、旧特殊芳香族化学品の製品群

キシレン分離/誘導品※2は、高純度イソフタル酸(PIA)の市況が上昇したことなどにより、増収増益となりました。

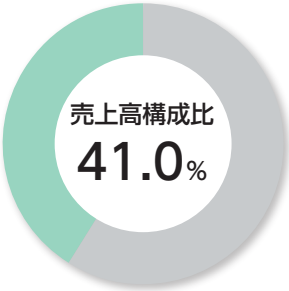
※2 メタキシレン、PIA等、旧汎用芳香族化学品の製品群

発泡プラスチック事業は、原燃料価格の上昇があったものの、自動車向け材料等の販売数量が回復したことなどから、増収増益となりました。

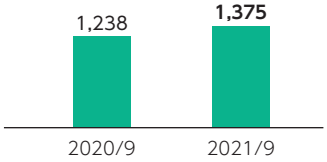
以上の結果、売上高1,982億円（前年同期比555億円増（39.0％増））、営業利益158億円（前年同期比155億円増（4,698.4％増））、経常利益191億円（前年同期比176億円増（1,242.2％増））となりました。

機能化学品事業

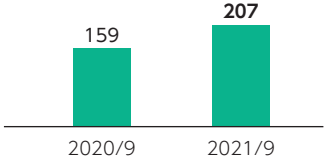
主要製品 無機化学品、エンジニアリングプラスチックス、光学材料、電子材料、脱酸素剤（エージレス® 等）



売上高（単位：億円）



経常利益（単位：億円）



無機化学品は、半導体向け薬液の販売数量が増加したことなどから、前年同期を上回る損益となりました。

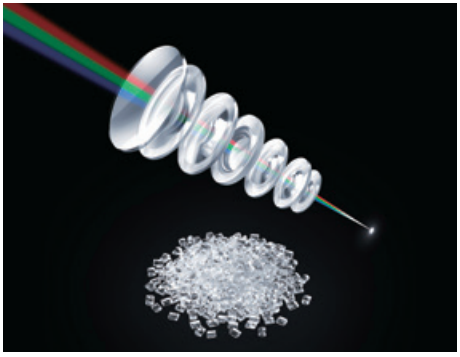
エンジニアリングプラスチックスは、原燃料価格が上昇したものの、自動車分野を中心に販売数量が回復したことに加え、販売価格の上昇もあり、増収増益となりました。

光学材料は、足元の需要は回復基調にあるものの、昨年末から顕在化した顧客の在庫調整局面の長期化などにより、光学樹脂ポリマーの販売数量が減少したことなどから、大幅な減収減益となりました。

電子材料は、主力の半導体パッケージ用BT材料において、PC関連機器や家電など幅広い分野で使用される汎用材料の販売数量が増加したことに加え、メモリーや5Gスマートフォン向けも堅調に推移したことなどから、増収増益となりました。

「エージレス®」等の脱酸素剤は、国内食品向けの回復等により、新型コロナウイルスの影響を受けた前年同期を上回る損益となりました。

以上の結果、売上高1,375億円（前年同期比137億円増（11.1％増））、営業利益159億円（前年同期比6億円増（4.0％増））、経常利益207億円（前年同期比48億円増（30.4％増））となりました。



特集　2050年カーボンニュートラルの実現に向けて

当社の特徴／強みであるエネルギー事業、メタノール・アンモニア事業、研究開発力を生かし、また他事業者との協働も進め、2050年カーボンニュートラル達成に向けた取組みを進めています。

1）次世代エネルギーとしてのアンモニア

CO_2を排出しないクリーンアンモニアの供給は当社の大きな責務と考えており、当社が間接出資し、現在CCS（CO_2地下貯留）を検討中のパンチャ・アマラ・ウタマ（PAU）社（インドネシア）に次ぐ海外ソースの安定的確保に向け、調査・検討を進めています。基礎化学品事業部門基礎化学品第一事業部内に「燃料アンモニア事業推進チーム」を設置し、国内外他社との協業を含めた燃料アンモニア事業化の検討を加速させるとともに、日本国内への燃料アンモニア供給の早期実現に向け検討してまいります。

2）環境循環型メタノール構想

当社が掲げる「環境循環型メタノール構想」について、新潟工場のメタノールパイロット設備を用いて実証試験を開始しています。9月にはCO_2と水素を原料として、国際規格を満たすメタノールを得ることに成功しています。

詳しくはこちら

3)水素キャリアや燃料としてのメタノール

当社では独自技術によりメタノールから水素を製造するプロセスを開発、販売しており、分散型、オンサイトでの水素製造・供給方法として一定の地位を築いています。このプロセスは、前述の「環境循環型メタノール構想」と組み合わせ、カーボンニュートラルの実現ならびに温室効果ガス(以下、GHG)削減のための現実的な水素製造・供給の方法として有効と考えています。

詳しくはこちら

4)地熱発電、LNG発電、バイオマス発電によるCO_2排出抑制

当社が出資しLNG発電を行う福島天然ガス発電所の電力をGHG排出量の低い「移行エネルギー」として活用しつつ、再生可能エネルギー事業拡大を目指し、現在建設中の安比地熱発電所の他、新規地熱発電やバイオマス発電などの検討も積極的に進めています。

詳しくはこちら

TCFD(気候変動タスクフォース)に基づく開示

当社は、2019年5月にTCFDの提言に賛同し、署名致しました。

TCFDは、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の4指標からなり、指標に沿った当社の取組みをホームページに開示致しました。当社は気候変動への対応は、持続可能な社会の重要な課題として認識し、気候変動の緩和と適応の両面から課題解決に取り組みます。

詳しくはこちら

GHG排出削減長期目標(2013年度比)

2023年:28%削減	2030年:36%削減	2050年 カーボンニュートラル達成

トピックス

創立50周年を迎えました

当社は、2021年10月1日に創立50周年を迎えました。株主の皆様には、日頃よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

三菱ガス化学は1971年10月に三菱江戸川化学と日本瓦斯化学工業との対等合併により誕生しました。以来、基礎化学品や機能性製品、ライフサイエンス、エネルギー資源開発に至る幅広い領域で、グローバルに事業活動を行っております。また、持続的成長の実現に向け、従来の枠にとらわれず、研究開発・新規事業の創出と育成に積極的に取り組んでいます。

当社は「社会的価値と経済的価値の両立」を図りつつ、これまで培ってきた技術やノウハウに新たなイノベーションを加えながら、世界に認められるエクセレントカンパニーを目指し邁進してまいります。

●創立50周年記念特設サイト

2021年4月～12月の期間限定で創立50周年記念特設サイトを開設しています。ぜひご覧ください。

欧州にMXDAの工場新設を決定

2021年9月、当社はオランダ王国ロッテルダムにメタキシレンジアミン(MXDA)プラントの建設を決定致しました。生産開始は2024年7月を予定しています。

MXDAは優れた防食性や耐薬品性を持つことから、主にインフラ向け塗料・コーティング材用途に使われる他、風力発電用ブレードの補修材用途でも市場が拡がっており、長期的に安定した成長が見込まれています。当社は中期経営計画「Grow UP 2023」の中でMXDA事業を差異化事業に位置づけており、日本国内2拠点に加え欧州拠点を持つことで、グローバルな競争優位性をさらに高めてまいります。

連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

（単位：億円）

科　　目	当第2四半期（2021年9月30日現在）	前期（2021年3月31日現在）
（資産の部）		
流動資産	**4,143**	**4,021**
現預金	884	1,017
受取手形及び売掛金	–	1,590
受取手形、売掛金及び契約資産	1,645	–
棚卸資産	1,441	1,212
その他	171	200
固定資産	**4,529**	**4,342**
有形固定資産	2,590	2,499
無形固定資産	108	104
投資その他の資産	1,830	1,737
資産合計	**8,672**	**8,363**

（単位：億円）

科　　目	当第2四半期（2021年9月30日現在）	前期（2021年3月31日現在）
（負債の部）	**2,580**	**2,549**
買掛債務	889	753
有利子負債	913	984
その他	777	811
（純資産の部）	**6,092**	**5,814**
株主資本	5,365	5,144
その他包括利益累計額	127	97
非支配株主持分	600	571
負債・純資産合計	**8,672**	**8,363**

連結損益計算書（要約）

（単位：億円）

科　　目	当第2四半期（累計）（2021年4月1日から9月30日まで）	前第2四半期（累計）（2020年4月1日から9月30日まで）
売上高	**3,358**	**2,666**
売上原価	2,542	2,063
販売費及び一般管理費	516	458
営業利益	**300**	**143**
営業外収益	112	52
営業外費用	25	31
経常利益	**387**	**165**
特別利益	21	15
特別損失	24	3
税金等調整前四半期純利益	**384**	**177**
法人税等	80	23
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	**281**	**142**

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：億円）

科　　目	当第2四半期（累計）（2021年4月1日から9月30日まで）	前第2四半期（累計）（2020年4月1日から9月30日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	**234**	**330**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△310**	**△165**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△156**	**148**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**16**	**△12**
現金及び現金同等物の増減額	**△216**	**300**
現金及び現金同等物の期首残高	**910**	**700**
連結子会社増加に伴う現金増加高	**15**	**–**
現金及び現金同等物の期末残高	**709**	**1,000**

株式の概要

（2021年9月30日現在）

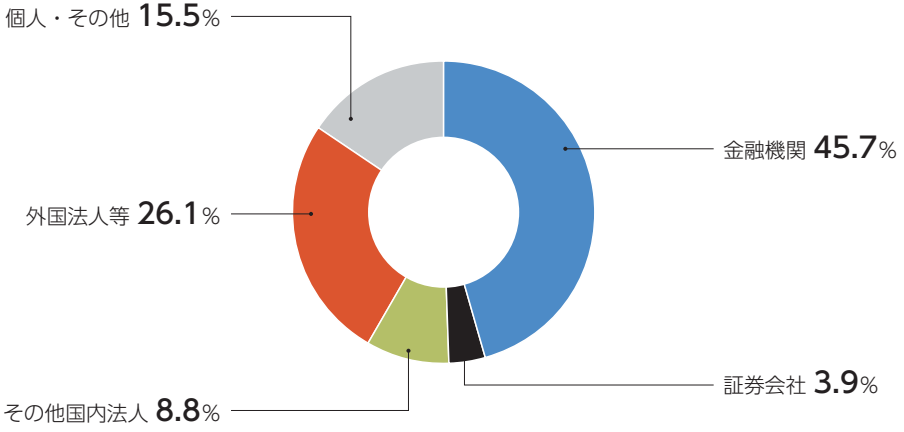
発行可能株式総数	492,428,000株
発行済株式の総数	225,739,199株
株主数	23,637名
上場取引所	東京証券取引所第一部（証券コード：4182）

大株主

株主名	持株数（千株）	出資比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	30,606	14.71%
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	13,732	6.60%
明治安田生命保険相互会社	8,797	4.23%
日本生命保険相互会社	7,376	3.55%
農林中央金庫	5,026	2.42%
AGC株式会社	4,130	1.99%
株式会社日本カストディ銀行（信託口4）	3,196	1.54%
株式会社横浜銀行	3,085	1.48%
JPモルガン証券株式会社	2,991	1.44%
株式会社三菱UFJ銀行	2,700	1.30%

（注）1. 当社は自己株式を17,692千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



会社概要

（2021年9月30日現在）

社　　名 三菱ガス化学株式会社
（登記商号：三菱瓦斯化学株式会社）
MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

本　　社
所 在 地 〒100-8324
東京都千代田区丸の内二丁目5番2号　三菱ビル

創　　業 大正7　（1918）年1月15日

設　　立 昭和26（1951）年4月21日

資 本 金 419億7千万円

従業員数 2,489名（連結：9,925名）

事 業 所 研 究 所：東京研究所、新潟研究所、平塚研究所

工 場 等：新潟工場、水島工場、四日市工場、山北工場、鹿島工場、QOLイノベーションセンター白河

役　　員

代表取締役会長	倉井敏磨	取締役社外	佐藤次雄	執行役員	毛戸　耕	執行役員	小川博史
代表取締役社長	藤井政志	取締役社外	広瀬晴子	執行役員	岩井辰雄	執行役員	西村喜男
取締役常務執行役員	稲荷雅人	取締役社外	鈴木　徹	執行役員	木浦智之	執行役員	赤瀬英昭
取締役常務執行役員	有吉伸久	取締役社外	真鍋　靖	執行役員	伊佐早禎則		
取締役常務執行役員	加藤賢治			執行役員	山口良三	監査役常勤・社外	木村高志
取締役常務執行役員	香坂　靖	執行役員	寺岡康郎	執行役員	菅野公一	監査役常勤	水上政道
取締役常務執行役員	長岡成之	執行役員	木暮直毅	執行役員	橋本晃男	監査役常勤	稲政顕次
取締役常務執行役員	北川元康	執行役員	宮本隆行	執行役員	東　友之	監査役非常勤・社外	松山保臣

連結子会社（70社）

永和化成工業株式会社
株式会社東邦アーステック
株式会社日本ファインケム
日本ユピカ株式会社
三菱ガス化学トレーディング株式会社
米沢ダイヤエレクトロニクス株式会社
株式会社JSP
MGCエネルギー株式会社
MGCエレクトロテクノ株式会社
MGCターミナル株式会社
MGCフィルシート株式会社

MGC ADVANCED POLYMERS, INC.
MGC PURE CHEMICALS AMERICA, INC.
MITSUBISHI GAS CHEMICAL AMERICA, INC.
MGC PURE CHEMICALS SINGAPORE PTE. LTD.
MITSUBISHI GAS CHEMICAL SINGAPORE PTE. LTD.
AGELESS（THAILAND）CO., LTD.
THAI POLYACETAL CO., LTD.
三菱瓦斯化学工程塑料（上海）有限公司
巨菱精密化学股份有限公司
三永純化株式会社

他　49社

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
同総会権利行使株主確定日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL： https://www.mgc.co.jp/ir/publicinfo.html
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

ホームページではさまざまな
情報がご覧いただけます。

三菱ガス化学　検索

https://www.mgc.co.jp/

株式に関するマイナンバー制度のご案内

マイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となりますため、株主様から、お取引の証券会社等へご提供いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、株式に係る各種支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出します。

【マイナンバーのご提供に関するお問い合わせ先】

1）証券会社の口座にて株式を管理されている株主様
…お取引の証券会社にお申し出ください。

2）証券会社とのお取引がない株主様
…三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。
連絡先：右記2）ご参照

株式に関するお問い合わせ先

1）証券会社等の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先：
お取引の証券会社等にお問い合わせください。

（注）なお、支払期間経過後の配当金支払、郵送物の発送に関するご照会については、下記の特別口座の場合の連絡先をご利用ください。

2）特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先：
三菱UFJ信託銀行株式会社（特別口座管理機関）にお問い合わせください。

連絡先　三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話　0120-232-711（フリーダイヤル）
郵送先　〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座に関する手続用紙
インターネットによるダウンロードURL：
https://www.tr.mufg.jp/daikou/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK